

報道関係者各位

細菌性赤痢の発生について（第3報）

12月4日発生の細菌性赤痢に関し、現在の患者発生状況や調査結果をお知らせします。

1 患者の概要及び発生経過等

12月9日(月)に5名の患者発生届が提出されました。患者らは全員快方に向かっています。また、幼児が利用している保育所は、12月7日(土)から11日(水)まで休園の措置をとっています。

(1) 3名が12月5日に酒田市内の医療機関を受診し、細菌性赤痢と診断

No.	住所	年代	性別	届出日	発症日	症状				備考
						発熱	腹痛	水様性下痢	粘血便	
1	酒田市	幼児	女	12/9	11/26	○	○	○	×	
2	酒田市	小学生	男	12/9	12/4	○	○	○	×	退院
3	酒田市	高校生	男	12/9	12/4	○	○	○	×	入院中

(2) 2名が庄内保健所の検便検査において細菌性赤痢と判明

No.	住所	年代	性別	届出日	発症日	症状				備考
						発熱	腹痛	水様性下痢	粘血便	
4	酒田市	幼児	女	12/9	11/28	○	○	○	×	
5	酒田市	40歳代	女	12/9	12/1	×	×	○	×	

※ No. 1 と No. 4 は調査中の保育所の利用者で、No. 2 と No. 3、No. 5 は同保育所利用者の家族です。

2 12月4日に発生した細菌性赤痢に係る患者（陽性者）の累計

(1) 患者数：16名（保育所利用者8名、家族8名） ※10歳代は小・中・高校生除く。

性別	幼児	小学生	中学生	高校生	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	合計
男	4	1		1				1	7
女	4	1					2	2	9

(2) 家族数：11家族 ※1名でも1家族として計上

3 県（庄内保健所）の対応

家族や施設関係者への検便や健康観察の他、予防方法の指導を行うとともに、感染原因を調査しています。検便検査の状況は次のとおりです。（12月9日現在）

検便検体数	陽性	陰性	検査中
210検体	11検体	165検体	34検体

4 その他

○ 細菌性赤痢を予防するために次のことに心がけましょう

- ・ 手洗いの励行が基本です。調理や食事前、用便後は必ず石けんで手をよく洗いましょう。

○ 下痢、腹痛などの症状があるときは

- ・ 早めに医療機関を受診し、医師の指示に従いましょう。
- ・ 特に食品を取り扱われる方は、調理業務への従事を見合わせてください。
- ・ 症状のある方の入浴は最後にするか、シャワーの利用だけにしましょう。
- ・ 汚染部分や人の手が触れる部分（ドアノブ等）を消毒用アルコールなどで丁寧に消毒しましょう。

県内細菌性赤痢発生状況（患者数）

今回発生	5名
本年累計	17名

問合せ先	山形県健康福祉部健康福祉企画課 薬務・感染症対策室 室長補佐 庄司 栄一 TEL: 023-630-2292
報道監	健康福祉部次長 泉 洋之